

1 (仮称) 第3期行財政改革プログラムの概要

■目的

本市の持続的発展に向けた

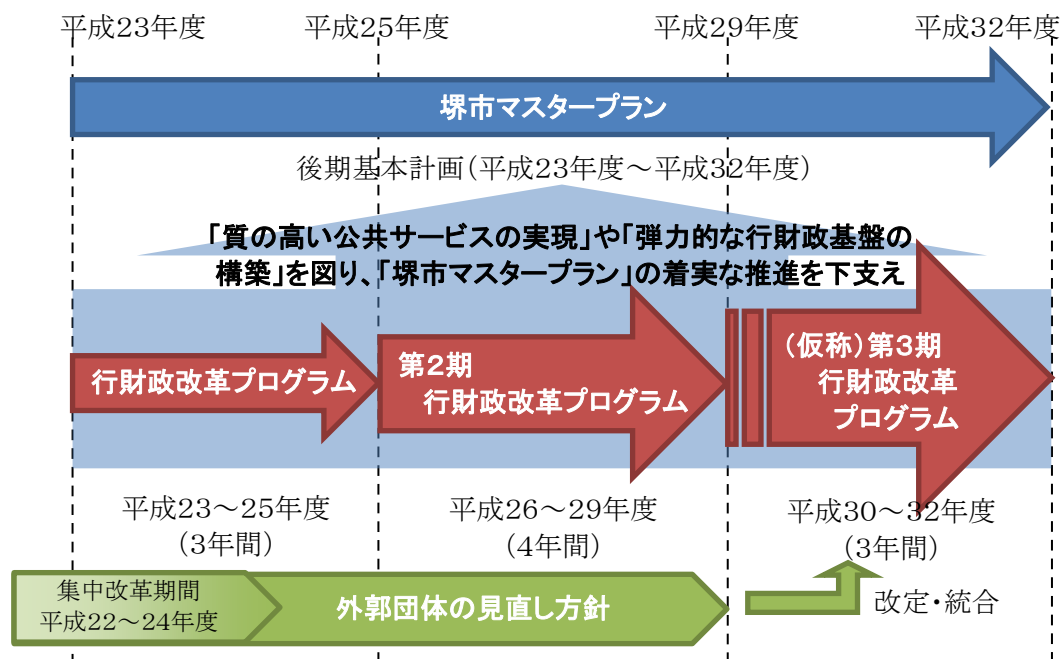
「質の高い公共サービスの実現」と「弾力的な行財政基盤の構築」

本市が将来にわたり発展を続けるためには、「堺市マスタープラン」のリーディングプロジェクトである「堺・3つの挑戦」をはじめ、「市民が安心、元気なまちづくり」や「都市内分権の推進」に重点的に取り組み、着実に推進する必要があります。これら重点施策を着実に推進するため、市民サービスの改善や協働によるまちづくりなどにより「質の高い公共サービス」を実現するとともに、費用対効果の最大化や少数精鋭によるスリムで強じんな組織体制の構築などを通じて「弾力的な行財政基盤」を構築します。

■位置付け

本プログラムによる行財政改革の取組を通じて、「質の高い公共サービスの実現」や「弾力的な行財政基盤の構築」を図り、「第2期行財政改革プログラム」に引き続き、「堺市マスタープラン」の着実な推進を下支えします。

また、平成22年度から平成24年度を集中改革期間として抜本的改革に取り組み、その後5年目を迎えている「外郭団体の見直し方針」についても、公益法人化をはじめ団体の統合・廃止など外郭団体改革が一定進んだことや、外郭団体を取り巻く環境も変化していることから、今後の方針を定めるとともに、本プログラムに統合します。



■計画期間

平成30年度～平成32年度(3年間)

2 (仮称) 第3期行財政改革プログラムの基本事項

基本姿勢	「市民目線」と「現場主義」の徹底
改革の視点	<ol style="list-style-type: none"> 多様な主体の協働と民間活力の活用の推進 組織・人員のパフォーマンスの最大化 費用対効果の向上と財源確保の徹底
改革の分野	<p>公共サービス改革</p> <p>窓口改革や施設・サービスの利便性・有効性の向上などきめ細かな質の高いサービスを提供するとともに、民間活力の効果的な活用や、行政だけでなく多様な主体の協働により公共を支える仕組みづくりを推進します。</p> <p>◇KPIの考え方(例): 市民サービスの質の向上度合、協働によるまちづくりの進展度合</p> <p>◇主な取組(例): 市民サービス・区役所機能の充実、多様な主体との連携・協働、民間活力の効果的な活用、給付型サービス・受益者負担の最適化</p> <p>行政運営改革</p> <p>事務執行改善やICTの活用に取り組むとともに、職員の資質・能力の向上を図り、少数精鋭によるスリムで強じんな組織やスピード感を発揮できる業務推進体制を構築します。</p> <p>◇KPIの考え方(例): 組織のパフォーマンスの向上度合、職員の資質・能力の向上度合、業務プロセス・マネジメントの改善度合</p> <p>◇主な取組(例): 組織・人材の機能強化、業務プロセス・マネジメントの改善、公営企業改革、外郭団体改革</p> <p>財政運営改革</p> <p>公共施設等の総合的な管理や有効活用を推進するとともに、社会保障関連費の増加ペースの低減など歳出全体の見直し・効率化を行い、地域経済の活性化や税源涵養を通じた税収の増、市税等収納率の向上や税外収入の確保の取組を強化するなど安定的な歳入確保を図ります。</p> <p>◇KPIの考え方(例): 費用対効果の向上度合、健全な財政運営の確保度合</p> <p>◇主な取組(例): ファシリティマネジメントの推進、歳入の確保、歳出の抑制</p>

※具体的なKPIや個別取組については、有識者意見等を踏まえ、今後検討・照会・調整を行います。